

2018年 5月～8月

5月3日(木)

連休を過ごすという事で、それらしく送るべきであろうが、なかなか難しい毎日の繰り返しとなる。昨日は平日という事もあって、予定通りリハビリテーションに検査と研修に行く。今までと決定的に違うのは、自分独力で行く事になる。本来は電車、バス、タクシーで行くべきであろうが、出来れば終わっての状況次第で、アポ取りして2件程お客様を回りたいという希望から自転車を活用することになる。とにかく、結果は何とかたどり着いて、1件の制約をいただく事になるが、残念ながら途中、富里十倉の辺りで、勝手にハンドルを切り損ない転倒してしまった。今になってもとても脇腹の辺りが痛む。その事で、ランニングトレーニングを少なくとも1日は休む事となる。

5月17日(木)

怪我をして2週間以上が経過する訳だが、ここに来て痛さがぶり返す事になる。大変に残念。何とか今まで通りの運動を続けていきたいがとても辛いところ。ところで仕事は相変わらずの状況であるが、何とも数字的結果が伴わない。今までは療養中という言い訳を付けていたが、どうなのだろうと、そういう断りはいつまで通用するのか、不安が無いわけではない。やはり結果はそのプロセスを簡潔に表すと言う事であろう。ま、仕方ないと諦めれば良いのだろうが、諦めきれぬかという自問が付きまとう。(??)

5月21日(月)

今日は市長を囲んでの昼食会に久々の参加となる。どこでも感じる事だが、自らの引け目に何とも居たたまれなさを感じるところ。要するにその場に自分が居る事で、自分自身の不足感、無力感を感じてしまう。場をリード出来ない自分に居ることの罪深さを感じてしまう。やはりそれを積み重ねる事でリハビリとしての解決をすべきであろうか。何とも分からなくなって来る。積み重ねだと自分に言い聞かせるしかないだろう。でもこの感覚は必ずしも長期リハビリから感じる様になったのでは無く、以前にもあったと思う。そういう人間性なのだと思えるしかない。

6月13日(水)

で、昨日はJCOB会のゴルフ懇親会があった。今更出るのはとてもシンドかったが、仕切りは始めからお願いする事になった。まあ、結果ホッと一安心だった。やはり自分にとってはキツイ話かと思う。決して安易に処理するつもりは無いが、仕方が無い判断かと思う。腑に落ちない人も居るだろうが、自分の現況、仕方が無い。

6月23日(土)

昨日、今日と久々に東京でアフラック全国次世代経営者会に参加する。殊更に年齢差を感じる様になったが、年齢が少しでも近いメンバーが減ってくるにつれて、自分と参加メンバーとの年齢による開き、違いが目立つようになった。いくら自分にとっては新たな情報による刺激、モチベーションとしての原動力とは思えるものの、若干の迷惑も気になるところ。とは言え、今更ながら代理店経営者として、欠かせない研修はどうしても吸収して行かなくてはならない。その為にもここに来る必要性はあるはずだ。自分に言い聞かせてみる。

6月25日(月)

東京での全国会研修と成田での市長親族(母)の葬儀、そして現役JCのジャガイモクラブ懇親会への参加という事で、何とも続く数日間であった。で、その研修の前日、夕方に自転車での転倒があり、痛い思いもあったが、家族を中心とした議論が再度過熱する。その事もあって、いろいろあったが、何とも落ち込む原因ともなる。

7月8日(日)

数日前から運転が出来る様になり、有り難く今まで通りの営業活動が可能になったとはいえ、中々拳積数字が上がらず困っている、というか若干の焦りを感じる今日この頃である。昨日は防犯パトロールの後、成田の祇園祭を見学方々、飲み会となる。で、今日は去年の事故について、お詫びの挨拶に伺いたいという事で、高木親子の訪問を

2018年5月～8月（退院後）.txt

受ける事になる。家内は会社の損失補填については、納得が行かない様だった。これは根の深い問題だと思う。当社の会社負担としては、善意で自身に対して給与の補填をしてくれたは良いが、それは会社が単独で休業による負担を独自で支えただけの事で、会社の負担は遅かれ早かれ、会社の関係者に対して被害をかばい合うだけでもある。それを損失保険の対象外となると、会社の善意は単純に悪用されただけの話になってしまいそうだ。

8月12日(日)

やはり記録は大切な事だ。過去の記録を読み返してみるが、昨年の9月の事故以降は読み返すのも辛くなる程、痛々しいものだ。だからこそ記録は大切な行為だと思う。少しでも自分を客観視する手段は必要である。自分では、自身の日常を良しとする以外に判断が無いはずであろう。少しでも客観視する手段がないとホント自分の日常活動、思考は分からないものだ。読み返してもよく分からず、常に悩みや疑問はあるものだろうが。(??)

8月15日(水)

保険業務は13から15日までは盆休暇として休みにしているが、自分個人は少しでも結果を出したいと思って何らかの動きはしているつもりだが残念結果は残せない。例年と比較しても虚しいものであるが、活動の経過も決して自慢出来るものではない。自分の経験と年齢を考えた場合、見合っているかは常に自身にプレッシャーを与える事になると思える。それなりに積立てて行かなくてはと恥ずかしさは常に感じる。(??)

8月24日(金)

また昨日は不忍会研修で研修と懇親会だった。それなりに充実した研修だったが自分事として振り返りをすると自身の至らなさを痛感するしか無い。ま、それが勉強というものであろうが。今日もそうであるが、気持ちの中で揉める事は毎度の如しだ。それなりに疲れるしストレスを感じる。自分の我がままが押し出でしまい、受け止めて控えようという意識が薄いからだとは思いますが、何とも果てしない。

8月25日(土)

昨日の続き。自分の気分的な落込みはある種、病的かも知れない。それは一言で他人様への有難さ、感謝を感じ切れない事が原因だとは分かっているつもり。では日々それを現実化する努力はしているかと言うと、ゼロに等しいかも知れない。自分の不幸福感が一杯で他人事では無いからだろうか。それも然りだが、それだけか？他人を見る目、視点に何か問題がありはしないか。問題は深そうだ。

8月27日(月)

昨日は午前中、町内会プラス祭り反省会だった。午後一番で仕事に戻させてもらったが、自分だけでは無いだろうが、負担の大きさをイヤでも感じてしまう。と言うのは、真っ当な仕事が出来てナンボなはずだ。残念ながら仕事すらまともに復帰できていない。仕事プラスアルファでボランティアを考えるべきであろうが、生活を支えるべき仕事と真ともに出来なければ、いくら理想を唱えようとも無理が生じてしまう。ボランティアとしてのプレッシャーは感じるものの、やれば良いんだという今までと同様の発想には根本的に無理や精神的な負担を感じるどころ。本当に先ずは仕事の復帰を優先すべきである。仕事というか生活の根本の復帰を図るべきであろう。もう少し数字の精査をすべきであるが、仕事上のマイナスは自分ゴトと比較して37パーセントしか復帰していない。これは恐るべき数字である。つまり、まともな生活を考えた場合、社会活動、ボランティアとの個人生活比率とはいかにあるべきなのだろうか、真剣に検討すべきであろう。

8月28日(火)

何故、本年は売上が停滞しているか。例年、ほぼ毎年の如くに全体売上の3割強を締めてきた加藤秀之の売上が、昨年の個人実績、3分の1も上がっていない。昨年、事故の後遺症が本格的に今年の現時点で深刻に悪影響を及ぼし始めた。加藤の売上減少を他の人員で多少は補っている所はあるが、マイナスの補填までは追いつかない。むしろ頑張っている効果はあるとしても、全体の頑張り意欲、意識は頭打ちになってしまうのが現状。つまり相応の意欲、意識で努力したとしても、酷な様だが、結果としてそれを補うには達していない。今後の対策として可能不可能は別としても、そうした現状数字、現況を社内全体とし

2018年5月～8月（退院後）.txt

て理解、把握はすべきである。

8月30日（木）

8月もいよいよ最終日を迎える事になる。だから何だでは無いが、今年も3分の2が終わる事になる。自分の仕事を、一企業として考えた場合、続きになるが深刻に捉えるべき時期であろう。簡潔にまとめて、より効果的な対策を講じるべきであろうが、具体的対策に一歩を踏み出せない現状自体に問題ありきである。

ボランティアとして昨日は観光協会の復帰懇親会が行われた。委員会としてズバリ自分個人の復帰、慰労会という建前に何とも申し訳ない感しか浮かばない。ま、続きの話では無いが、仕事も付き合いもやるべきを乗り越えないと何ら解決しないことは承知しているつもりではある。でも、全てに言える事であるが結果が伴わないと本当に気持ちとして辛いものだ。出来れば結果が良好となるまでは、付き合い部分を休ませて欲しく思うのはワガママであろうか？